

【南箕輪村】校務 DX 計画

		令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	33%	67%	100%	—
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	33%	67%	100%	—
	クラウド環境を活用した校務 DX の徹底に取り組んだ学校の割合	0%	33%	67%	100%	—
選択項目	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	67%	100%	—	—	—
	18.職員会議等をハイブリッド（対面・オンライン）で実施している学校の割合	0%	100%	—	—	—
	25.教職員への調査・アンケート等をクラウドサービスを用いて実施・集計している学校の割合	33%	68%	100%	—	—
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	・市町村ごとに校務 DX 環境が異なるため、教職員が異動した際に負担が生じること ・ICT 活用スキルに教職員の格差が生じていること				
	教育委員会及び学校が教育 DX を推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	・ICT 支援員による継続的な研修の実施と積極的な授業支援、校務支援の実施 ・学校間との情報共有を図るため、情報担当者会を定期的に開催 ・文部科学省の ICT 活用教育アドバイザー事業者の活用 ・県域でのアカウント管理による教職員の負担軽減、および市町村間の格差軽減				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	・次世代型校務 DX 環境の整備 ・村教育委員会、学校、ICT 支援員による情報担当者会議を定期的に開催し、現場の意見を取り入れて校務 DX 計画を策定・推進していく				